

別記様式

会 議 録

会議の名称	令和5年度第2回戸田市立郷土博物館協議会
開催日時	令和6年2月16日（金）午前10時から午前11時35分まで
開催場所	戸田市立郷土博物館 3階 講座室
委員長等氏名	戸田市立郷土博物館協議会 会長 佐藤勝巳
出席者氏名 （委員）	佐藤勝巳（会長）、伊藤裕厚（副会長）、若松良一、星野正義、長谷川理、 寿原淑郎、御園生誠子
欠席者氏名 （委員）	なし
事務局	高屋課長、名古屋主幹、本橋主幹、金子主事
説明のため 出席した者	なし
議 事	（1）令和5年度郷土博物館・彩湖自然学習センター事業報告（下半期）について （2）令和6年度郷土博物館・彩湖自然学習センター事業計画（案）について （3）戸田市郷土博物館ビジョン進捗状況について （4）その他
会議結果	生涯学習課郷土博物館担当から議題の内容について報告をし、報告事項に対して郷土博物館協議会委員から意見を聴取した。
会議の経過	別紙のとおり
会議資料	<ul style="list-style-type: none"> ・資料1－1 令和5年度郷土博物館入館者数 1－2 令和5年度郷土博物館事業進捗状況 1－3 令和5年度彩湖自然学習センター入館者数 1－4 令和5年度彩湖自然学習センター事業進捗状況 ・資料2－1 令和6年度郷土博物館事業計画（案） 2－2 令和6年度彩湖自然学習センター事業計画（案） ・資料3－1 戸田市郷土博物館ビジョン進捗状況まとめ 3－2 戸田市郷土博物館ビジョンの進捗状況について 3－3 戸田市郷土博物館ビジョン
議事録確定	令和6年3月2日 戸田市立郷土博物館協議会 会長 佐藤 勝巳

(会議の経過)

発 言 者	議 題 ・ 発 言 内 容 ・ 決 定 事 項
事務局	1 開会 事前配布資料（資料1～資料3）の確認。 戸田市立郷土博物館条例施行規則第16条第2項の規定における成立要件となる委員の過半数の出席を満たしていることを報告。
会長	2 会長あいさつ
事務局	次第6の議事に移る。議事の進行については、戸田市立郷土博物館条例施行規則第16条第1項の規定により、会長が務める。
会長	※議事に入る前に傍聴人が1名いる旨報告。 3 議事 (1) 令和5年度郷土博物館・彩湖自然学習センター事業報告（下半期）について
会長	議事（1）について、事務局から説明をお願いします。なお、議事（1）と議事（3）戸田市郷土博物館ビジョン進捗状況の「令和5年度の新たな取組」については内容が関連していることから、併せて説明をお願いします。
事務局	資料1-1～資料1-4及び資料3-1～資料3-3に基づき、事務局から説明
会長	議事（1）及び議事（3）について、委員の方から何かご意見・ご質問等あるか。
会長	彩湖の資料1-4の資料を見るとかなりの数の講座を行っているとのことで、例年のような状態に戻ったとお話があった。特にカヌーを体験しながら野鳥を観察する講座だが、実際にやってみて参加者からどんな声があったか話を伺いたい。

事務局	<p>実際にいただいたアンケートからだとかヌーをやりたいという方が多かった。あとは、アンケートには書いていないが参加者の話を聞いたなかでは、カヌー体験を初めて行う方が多かったため、初心者が参加しやすいと考えられた。カヌーに乗りながら双眼鏡を使って野鳥観察をしていた中で、今まで野鳥を観察したことがなく、カヌーも体験したことがない方もいたので、今回の講座は大変勉強になったし、面白かったと好評の声をいただいた。</p>
委員	<p>博物館の評価は入館者数が一つの指標になっているけれども、実際はあまり表には出てこない、人数面で制約がある普及事業をまめに行われていることに敬意を表したい。博物館の場合は文書や考古資料を丁寧に見るという事業は内向きな事業になるし、自然系の事業だとフィールドに出て子供が楽しめるという特性がある。そういったものを積み重ねて将来にわたるまで子供たちが博物館や彩湖自然学習センターを愛用してくれるように育ててほしいと思っている。ぜひ全体の入館者数だけではなく、普及事業も理解していただけるように周知してほしい。</p>
副会長	<p>資料を見ると、小学校3年生の博学連携事業は来館方式とあるが小学校6年生は来館方式だったか。</p>
事務局	<p>小学校6年生の博学連携事業は5・6月に実施をしており、1回目の協議会で説明させていただいたが来館方式で実施をしている。今回は2回目の協議会ということで、10月以降に新たに行ったもので取り上げさせていただいているため、今回の資料には記載していない。しかしながら、資料3-2が戸田市郷土博物館ビジョン進捗状況についてということもあるので、年間を通した新たなものとして、小学校6年生の授業についても今回の資料でも取り上げていた方が、委員がおっしゃる通りわかりやすかったかと思われる。</p>
副会長	<p>ボランティアが増えたということでもとても良いことだと思った。なかなか時間に都合をつけて集まってくれるのは大変だと思う。こうやって小学生がたくさん来ると色々ところで気をつかわなくてはいけない。大切な物を壊したりしてもいけないし、怪我をしてもいけない。そのあたりの配慮も含</p>

	<p>めて、ボランティアも育てていくと、ボランティアも色々なことを学ぶことができるきっかけになる。ぜひともこのような活動を広めていただければありがたいと思った。</p>
会長	<p>ボランティアの研修会も行っているのか。</p>
事務局	<p>ボランティアが応募していただいた時期が、3年生授業が始まる直前だった。ボランティアには授業前に少し早めにお越しいただいて、道具の基本的な使い方や、お子さんが体験するにあたり注意していただきたい点等を事前に説明した。ボランティアも博物館で初めてボランティアをする方だけではなく、既に社会福祉協議会等で他のボランティアを経験された上で新たに博物館のボランティアにお申込みいただいた方もいるので、基本的な活動の仕方は慣れている方もいた。博物館の職員が道具の使い方の説明で手一杯になっているところにボランティアが入って、お子さんへの接し方や目配りをしている。</p>
会長	<p>まさに先ほど委員がおっしゃっていただいた安全の配慮に目を向けてもらうボランティアは非常に大切だと思う。ボランティアの確保は非常に課題だというお話もあったが、ぜひボランティアを育てていただくかが大事だと思う。ちなみに彩湖自然学習センターはボランティアはいるか。</p>
事務局	<p>彩湖自然学習センターは国土交通省の浄化機施設でもあるが、そちらで保守管理をしている株式会社荏原製作所の方が、CSR活動という、いわゆる民間企業の地域の社会貢献事業といった形で彩湖自然学習センターの講座のボランティアに入っている。2年、3年ご協力いただいているため、コミュニケーションもとれていますし、参加者の方からだいぶ好評をいただいている。地域貢献活動ということで、彩湖自然学習センターとしては民間企業との連携といった形で今後も引き続き行っていければと思っています。</p>
会長	<p>そのボランティアは以前からか。</p>
事務局	<p>以前から話はあったが、講座にボランティアとして参加していただい</p>

	<p>いるのは昨年度からになる。今年度も引き続き継続ということで、人数が必要になる星空観察会や、夜のいきものたちという講座で、道満グリーンパークの中でライトを設置して寄ってくる虫などを観察する際に、現場の設営や安全管理上、参加者を案内するにあたり人手が必要になるところでご協力をいただいている。</p>
会長	<p>新曾中学校の生物部との共同展示の話があがったが、展示が主で研究を一緒にやるとかではないか。展示の資料を提供する形か。</p>
事務局	<p>おっしゃる通りである。</p>
会長	<p>もし共同で研究成果がでたら彩湖の宣伝になると思う。ただ今回の取り組みはとても良いことだと思うので、これからも積極的に行っていただきたい。</p>
副会長	<p>これはどのような形で、共同でやりましょうという話に進んだのか。</p>
事務局	<p>今年度の7月に上戸田分館で彩湖自然学習センターとのコラボ展示を行った。その後の11月に、上戸田分館で環境フェアが実施されたが、そのフェアの中で今回の生物部が「クビアカツヤカミキリ」の生息状況についての調査結果をパネルで掲示していた。それを見て、彩湖自然学習センターも外来種の展示を積極的に行っているため、彩湖自然学習センターの方から良かったら一緒にやりませんか、というお話を生物部にさせていただいた。</p>
会長	<p>ぜひ各校でこのようなことができるという情報提供を示していただけると違うと思う。</p>
委員	<p>今回、新規でアートミュージアムを行ったと聞いたが、高校の写真部だと保護者の方が高校の中に入るとするのは難しいという部分もあると思う。しかし、このような公共の施設で展示していただくと成果を発表できる場所ができるので非常に良いと思った。また、市所蔵絵画展も、所蔵されている絵画の中から近年目にすることができなかつた良い絵画を掘り起こして市民が鑑賞できるようにした取り組みであり、非常に素晴らしいと思った。</p>

<p>会長</p>	<p>他にご意見・ご質問等がなければ、議事（１）及び議事（３）郷土博物館ビジョン進捗状況の「令和５年度の新たな取組」については、以上とする。</p> <p>（２）令和６年度郷土博物館・彩湖自然学習センター事業計画（案）について</p>
<p>会長</p>	<p>議事（２）について、事務局から説明をお願いします。なお、議事（２）と議事（３）戸田市郷土博物館ビジョン進捗状況の「令和６年度の新たな取組」についても内容が関連していることから、併せて説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>資料２－１・２－２及び資料３－１～３－３に基づき、事務局から説明</p>
<p>会長</p>	<p>議事（２）及び議事（３）について、委員の方から何かご意見・ご質問等あるか。</p>
<p>委員</p>	<p>郷土博物館の４０周年記念事業ということで企画展を２つ行うとのことだが、もう少し体験できるイベントがあれば良いと思った。１１月だと記念イベントということで、展示解説やバックヤードツアーが資料に書いてあったが、たとえば夏休み中の戸田の昔ばなしの原画展でもこの展示に関連した体験できるイベントがないかと思った。また、１１月の新収蔵品展を見るとイベントが同じ日に終わってしまうため、もう少しイベントがあると参加しやすいので良いと思ったがいかがか。</p>
<p>事務局</p>	<p>原画展については関連イベントを書き込んでいなかったが、現在考えられるものとして想定しているのは、昔ばなしの原画にあわせて、おはなしボランティアの方々に「戸田の昔ばなし」や「戸田のわらべうた」について取り上げていただいて、お子さんや大人など年齢層を分けて、夏休みにあわせた関連イベントを実施できないか考えている。新収蔵品展では展示解説資料に載せているが、収蔵品展の内容に絡めた講座ができるかどうかは未定である。ただし、何らかの形で会期内に関連イベントとしてできるようなものがあれば望ましいかと思う。</p>

委員	あとは彩湖自然学習センターとの事業計画案と見比べても、もう少しイベントが欲しいと思った。何か新規で新たな体験を考えたりはしているのか。
事務局	体験用の道具については、今使用している道具を維持・管理していくのが精一杯な面もある。体験用道具自体が20～30年使い続けているものであり傷みや経年劣化が起きていることや、道具の調達が困難なため、新たな内容を開拓していくことが難しい状況がでてきている。そのため、現在ある道具を工夫しながら行っている状況ではある。あとは道具を使わなくても可能な内容のものについては、まだ開拓していく余地はあるかもしれないというところではある。また、参加者に教えるにあたり我々の側が習熟しなければならない部分もあるため、どのような内容のものであれば我々がスムーズに教えられるのかなども含め検討しているところである。
会長	ボランティアなど外部からの力を借りて、みんなで40周年の事業を考えられたら良いかと思った。
副会長	小学校だと昔あそびなど授業をやっていたりするので、お手玉をやったり、おはじきをやったり、あやとりをやったりなど、そこまで準備をしなくてもできるようなものもあるかと思った。普段そういったあそびをやっていないぶん、子供は面白いと思う。11月の2日・3日の中だと関連イベントがたくさん書いてあるので、これを行うとなると人数が必要になると思うので心配しているところではある。それともうひとつ、戸田の昔ばなしの冊子は今でも配布または販売はしているのか。
事務局	元々販売していたものではなくて、当時の秘書課が作成して配布をしていたものになる。一般の方向けにお配りしている在庫はないと思う。図書館の郷土資料コーナーでご覧いただくことはできる。
副会長	戸田の昔ばなしの原画の展示をした場合、欲しいという方がたくさん出てくるのではないかと思うが何とかならないか。
会長	たしかに何の原画か分からないし、単なる絵だと思ってしまう人もいる。

事務局	<p>展示の際には、原画とセットになっている昔ばなしの内容もご紹介するような形でできればと思う。</p>
委員	<p>私が担当ではないが、文学館で埼玉の民話の展示をやって大当たりだった。この昔ばなし展は形があるような、ないようなものを飾るので、当たるのか低調になってしまうのかどちらかになりがちである。実物がある鎧とか刀とか埴輪とかと違う。ただし、池原昭治さんの絵なら誰でもわかるし、親子で来てくれるという形もある。そのため周知や、お話が上手な話者の方に依頼したり、アートや動画を作成するような人に講座を依頼したりするなど、話だけではなく、体験で絵を描かせてみるとか、そのようなノウハウを持った講師は探せばいると思うので、今のうちからアンテナを広げて普及事業を用意できればこの展覧会は大当たりになる可能性もある。</p>
委員	<p>近隣学校連携イベントでお話があり、今年度は図書館で本校の子供たちの作品を展示させていただいた。おそらくそれと関連したようなことになっていくのかと思うが、依頼する場合はどれくらいの作品をいつ頃展示するか早めにお知らせいただくと作品を返却しないで学校に保管したりとかそういったことができる。または40周年にかけて何かを募集するというのであれば夏休み前にお知らせいただければ、夏休みの課題等で子供たちに作品募集をかけられると思うので、そのようなスケジュール感は早めにお知らせいただくとありがたい。あとは子供たちが喜びそうな体験でいうと実現不可能かもしれないが、縄文時代の土器づくりや、食べ物は難しいと思うがどんでんぐりでクッキーを作ってみたりすると子供たちが興味を持ってもらえるかと思った。あとはオリンピックの聖火を使って、聖火リレーミニコースみたいなものを作るとか、そういうものもできるかなと感じた。</p>
委員	<p>彩湖自然学習センターの水辺環境エコツアー自然保存ゾーン編というものがあって、実施が10月下旬となっている。この件については、ゆくゆくは春と秋とか季節を分けて実施する計画はあるのか聞きたい。</p>
事務局	<p>こちらは国土交通省の許可がおりないとできないため、2回できるかどうかは国土交通省と検討する必要がある。ただし、この講座は継続的に行っていきたい内容ではあるので、年間少なくとも1回は行いたいと考えている。</p>

<p>会長</p>	<p>他にご意見・ご質問等がなければ、議事（２）及び議事（３）郷土博物館ビジョン進捗状況の「令和６年度の新たな取組」については、以上とする。</p>
<p>会長</p>	<p>（４）その他について 議事（４）について、事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>令和６年度の第１回目の協議会については、令和６年９月頃を予定している。</p>
<p>会長</p>	<p>本日の全ての議事が終了したので、進行を事務局へお返しする。</p>
<p>事務局</p>	<p>４ 閉会 以上で令和５年度第２回戸田市立郷土博物館協議会を閉会とする。 ３階特別展示室で開催中の「昔のくらし展」を自由に観覧いただきたい旨案内。</p> <p>議事終了 閉会 午前１１時３５分</p>